



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月30日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,924	—	4,239	—	4,351	—	2,963	—
29年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,239百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	315.57	—
29年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、平成30年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率並びに平成29年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	33,831	25,639	75.8
29年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 25,639百万円 29年3月期 ー百万円

(注) 当社は、平成30年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	115.00	115.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,600	—	5,000	—	5,100	—	3,400	—	362.47

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、平成30年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

（注）特定子会社の異動に該当しませんが、カタギ食品株式会社の株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	9,400,000株	29年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	50,326株	29年3月期	282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	9,389,892株	29年3月期3Q	9,399,767株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、国内株価は上昇しました。また、今後の政府の経済政策によっては、更なる景気の底上げが期待されます。しかしながら、世界経済は北東アジアの地政学的リスクへの不安感が払拭されず、今後の動向は不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、国内市場の拡大は望めず、食の安全性確保や顧客ニーズへの対応等自社製品の差別化によるマーケットシェアの確保、海外進出による市場開拓等の対応が求められております。

このような状況下、当社は家庭用金印純正ごま油の発売50周年を記念して、同じく生誕50周年を迎える人気キャラクターであるリカちゃんを起用、幅広い世代に向けて当社の認知度を更に向上させるべく、広告活動を行っております。また、当社製品の品質の更なる向上のため、品質保証部を設置した他、軽量で持ちやすいPET容器の製品展開等、安全・安心で高品質の製品をお客様に提供できるよう活動を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高22,924百万円、経常利益は4,351百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,963百万円となりました。

なお、当社は、平成30年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用金印純正ごま油と同じく生誕50周年を迎えるリカちゃんを起用し、公共交通機関でのステッカー広告および雑誌メディアを用いた積極的な広告活動を行いました。また、軽量で持ちやすいPET容器製品について、消費者から好評を得ていることから、製品ラインナップを揃え、積極的に拡販を行っております。その他、ごま油の用途多様性に着目し、濃口や純白のごま油の訴求活動を行い、市場拡大に努めております。なお、ごま原料の仕入価格が近年の中で比較的low価格かつ安定的に推移していた影響等により、取引先からの値下げ要請の増加等があり、販売価格は低下傾向にあります。

以上の結果、売上高は19,105百万円、セグメント利益は3,593百万円となりました。

#### ②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、スーパーマーケットやドラッグストアへの販路拡大により家庭用食品ごまの販売が好調に推移しております。また、業務用においては、加工ユーザー向け等に対し積極的な拡販を行っておりますが、食品ごまにおいてもごま原料の仕入価格が近年の中で比較的low価格かつ安定的に推移していた影響等により、取引先からの値下げ要請の増加等があり、販売価格は低下傾向にあります。

こうした環境下において、当社は空気の力で自立するエアホールドパウチ仕様のねりごまを開発し、販促活動を行っております。

以上の結果、売上高は3,804百万円、セグメント利益は639百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は33,831百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が11,310百万円、受取手形及び売掛金が8,136百万円、原材料及び貯蔵品が3,933百万円、有形固定資産が5,335百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は8,192百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が2,122百万円、短期借入金が1,091百万円、退職給付に係る負債が889百万円、流動負債のその他が2,021百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は25,639百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金が19,830百万円であり、自己資本比率は75.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間においてカタギ食品株式会社を子会社化したことに伴い、本日（平成30年1月30日）付けて、通期連結業績予想を公表いたしました。

連結業績予想につきましては、本日（平成30年1月30日）別途公表の「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成29年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	11,310
受取手形及び売掛金	8,136
商品及び製品	1,067
仕掛品	695
原材料及び貯蔵品	3,933
その他	415
流動資産合計	25,559
固定資産	
有形固定資産	5,335
無形固定資産	87
投資その他の資産	2,849
固定資産合計	8,272
資産合計	33,831
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	2,122
短期借入金	1,091
未払法人税等	820
賞与引当金	120
役員賞与引当金	115
その他	2,021
流動負債合計	6,291
固定負債	
長期借入金	350
退職給付に係る負債	889
資産除去債務	53
長期未払金	196
社債	30
その他	380
固定負債合計	1,900
負債合計	8,192
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,160
資本剰余金	3,082
利益剰余金	19,830
自己株式	△313
株主資本合計	24,760
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	873
繰延ヘッジ損益	6
その他の包括利益累計額合計	879
純資産合計	25,639
負債純資産合計	33,831

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	22,924
売上原価	12,141
売上総利益	10,783
販売費及び一般管理費	6,543
営業利益	4,239
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	22
為替差益	63
雑収入	30
営業外収益合計	118
営業外費用	
支払手数料	4
雑損失	1
営業外費用合計	5
経常利益	4,351
特別損失	
固定資産除売却損	10
特別損失合計	10
税金等調整前四半期純利益	4,341
法人税、住民税及び事業税	1,324
法人税等調整額	53
法人税等合計	1,378
四半期純利益	2,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,963

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,963
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	266
繰延ヘッジ損益	9
その他の包括利益合計	275
四半期包括利益	3,239
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,239
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	4,341
減価償却費	522
のれん償却額	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△244
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
受取利息及び受取配当金	△23
支払手数料	4
為替差損益 (△は益)	△2
有形固定資産除売却損益 (△は益)	10
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,209
たな卸資産の増減額 (△は増加)	918
その他の資産の増減額 (△は増加)	△5
仕入債務の増減額 (△は減少)	53
その他の負債の増減額 (△は減少)	△131
小計	4,213
利息及び配当金の受取額	73
支払手数料の支払額	△5
法人税等の支払額	△1,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,025
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資有価証券の取得による支出	△4
有形固定資産の取得による支出	△320
無形固定資産の取得による支出	△35
有形固定資産の除却による支出	△24
資産除去債務の履行による支出	△5
貸付金の回収による収入	1
保険積立金の積立による支出	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△534
その他	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△922
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△313
配当金の支払額	△1,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,393
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	709
現金及び現金同等物の期首残高	10,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,209

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,105	3,804	22,910	14	22,924
計	19,105	3,804	22,910	14	22,924
セグメント利益	3,593	639	4,233	6	4,239

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

なお、カタギ食品株式会社を連結の範囲に含めておりますが、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末日としているため、カタギ食品株式会社の業績は含まれておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,233
「その他」の区分の利益	6
四半期連結損益計算書の営業利益	4,239

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。